

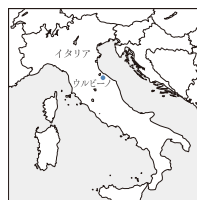


第95回

私のスケッチブック

「ラファエロの故郷」

ウルビーノ（イタリア）



ローマ・パンティオンに眠る画家ラファエロの墓碑には、次のように刻まれています。

「著名なラファエロが、ここに眠る。生前には万物が凌駕される事を畏れ、死ぬ間際には万物がその死を恐れた」と…。

彼が生まれたウルビーノの町は、1998年にユネスコ世界遺産に登録されます。アペニン山脈の北部山岳地帯に位置し、イタリア東部・アドリア海側の山間部の小さな町で、サンマリノから30km、フィレンツェから100kmに位置する坂の町です。

彼は1488年にこの町の宮廷画家の息子として生まれ、当時はモンテフェルト家・フェデリコの時代で芸術も文化も華開いた時代。現在のドッカラーレ宮殿はマルケ美術館として公開され、ラファエロの「黙っている女」やルネサンス絵画の傑作が数多く展示されています。彼の生まれた時代は、ボッティチェリの全盛期でした。

レオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロと共に全盛期ルネサンス芸術の三大巨匠と讃えられ、多くの作品はヴァチカン宮殿のラファエロの間に残されています。

14歳でウルビーノで学び、フィレンツェで伝統的絵画に目覚め、ローマでは教皇の宮廷画家として輝かしい時代を迎え、37歳でこの世を去ります。30歳年上のレオナルド・ダ・ヴィンチの影響を受け、フレスコ画の名作「アテナイの学堂」では畏敬の念を持ってミケランジェロの姿を描いています。私の大好きな作品は、ドイツ・ドレスデンにあるアルテ・マイスター絵画館に飾られる「システィーナの聖母」です。作品の前に佇む老人が、満面の笑みでラファエロの最高傑作と胸を張る姿が眼に焼き付いています。

ラファエロは、故郷・ウルビーノを想う愛郷の念と感謝の気持ちを作品の片隅に残し、署名は「ラファエロ・ウルピナス」と記しています。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。
2018年開催「第69回 全国カレンダー展」に10度目の入選を果たし、その実力を発揮する。
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索